

くじら山ろく

田の茨の自転車屋への再開

田の茨で自転車屋を営んでいた荒川輪店の荒川明見さんは、津波と火災の被害に合い、お店も道具も全て失ってしまっただけで、現在船越漁港で仕事をしているそうです。地域の方々から希望にこたえたいという気持ちから、6月中旬にプレハブを建て、お店を再開しています。今は十分な道具がないため、パンクや簡単な修理に限られますが、田の茨以外の地域でも要望があれば出張して修理をしてくださるそうです。電話してくれば、自転車やバイクに関してのアドバイスをしたり、いろいろな協力するので気軽に連絡してくださいとのことでした。

お待ちしています

大天地区で中忠商店を営んでいた中釜トメコさんは、震災で自宅を失われ避難所で生活していましたが、津波で唯一残った倉庫を改造し、6月にお店を再開しました。お客さんは近所の方が多いとのことですが、お店が遠い仮設住宅に移られた方もわざわざ足を運んでくださることです。お店は買物をする場所というだけではなく、地



電話してください！

電話番号は011-381-5744です。平日は漁港で作業しているので修理はできませんが、土日のできる範囲で対応してください。荒川さんの地域の方々の対応の思いが伝わってきました。

域の皆さんとおしゃべりしたり、いろいろな情報交換の場にもなっているとのこと。天気がいい日にはお店の前に野菜用のコンテナを置いて、座談会をしているそうです。営業時間は午前9時から午後7時まで、土日とも休みです。営業しているそうです。時間外でもお客さんがいらつしゃると、その都度対応されているそうです。中釜さんのお人柄か、お店に来るお客さんは中釜さんとの会話を楽しみに来ているようでした。

くじら山ろく

山田病院の前で「くりっこ屋菓子店」を営む甲斐谷さんのお店は、カリントウやみそパンで有名なお菓子屋さんですが、今回の震災で被害を受けお菓子を作るのができなくなりました。今は、少しずつ道具もそろいはじめ、盆菓子だけ作られているそうです。店の看板であるカリントウとみそパンはいつできるのかとの問い合わせも多く、甲斐谷さん「一日早く再開したい」と言っておられました。8月中旬には店頭にかりんとうやみそパンが並び予定だそうです。お伺いした日は親子三人で盆菓子を作っていました。今の息子さんと三代目だということ



かわいいがらがりへ～おうちで

みなさんのおこしをお待ちしています

とです。山田の人が慣れ親んできた味をたくさんの方が、心待ちにしています。

避難所山柳

大家族 やさしい声を忘れじと

復興は 次人同志 綱を引く

復興に 系社長 いうおしかり

やさしい目 皆を見ている 流木 厨房で

全国の 支接の心に 交えられ

復興は 町民みんなで 一歩ずつ 太公望



お知らせ

岩手銀行山田支店が9日営業を開始しました。ATMは外の駐車場に設置してあります。船越郵便局のATMの取扱い時間は次のとおりです。平日は午前9時から午後6時まで、土日祝日は午前9時から午後5時までと、しています。

新聞の終りにあたって

仮設住宅への入居も最終段階に入ってきました。あの震災からすでに4ヶ月が過ぎました。これまでの不自由な避難所の生活も、そろそろで終わります。仮設住宅での家族水回り生活もあと少しです。暗いニュースが多かった頃、何か「ホッ」とするニュースを届けたい、また町内の避難所にいる皆さんの様子を知らせたいという気持ちで始めた「くじら山ろく」も、この号をもって終了となります。避難所新聞ですから、避難所にいる人がいなくなるまで終了しようというつもりでスタートしました。この新聞を読んだとき、読んだ方の顔に少しでも笑顔が浮かんでくれたら良かったと思っています。これまでご愛読ありがとうございました。